

当院における多様な勤務形態(短時間正社員)制度

導入に向けた事前調査

長崎腎病院

○丸山祐子 船越哲

【はじめに】

当院では地域の次世代支援対策として「多様な勤務形態(短時間正社員)制度」(以後、制度)の導入を決定し、制度構築のための事前調査を実施したので報告する。

【対象・方法】

部長職を除く当法人正規職員と、全ての雇用形態の看護職の計 132 名を対象とし、独自に考案した内容で自記式留め置き法によるアンケートを実施した。

【結果・考察】

制度の利用について、全体では 23%、看護職に限ると 34%が「利用したい」と回答した。利用希望者の背景として 27%は育児や介護に関係のない者であった。現在、勤務上の配慮を受けている者は 27%であったが、その内、制度を利用したいと回答したのは 44%であった。希望する内容として「委員会活動の免除」が多く、時間外労働を避けたい傾向がうかがえた。